

旭川荘厚生専門学院
（岡山市北区祇園）の

福祉の大切さ 高校生が体験

旭川荘でスクール

ボランティアスクールが28日、同学院で開かれ、岡山、広島県の高校生14人が、障害者施設などで利用者と触れ合いながら福祉について学んだ。

開講式で岡田浩明学院長が「福祉の現場を体験できる貴重な機会。少しでも多くの人を学んでほしい」とあいさつ。参加者は福



福祉や介護について説明を受ける高校生

祉や介護の仕事について説明を受けた後、4グループに分かれ、近くの特別養護老人ホームや身体障害者支援施設などを訪問。網戸や部屋の掃除、車いすを介助しての散歩に取り組んだ。

広島県立呉商業高3

年、浜田鈴乃さん（18）は「明るく元気に接しよう」と心掛けた。思いやりのある看護師になりたいと話していた。ボランティアを肌で感じてもらうと同学院が毎年行っており、29回目。（柏谷和宏）